

## 令和3年度法人本部事業計画書

### (1) 現状と課題

新型コロナウイルスの感染リスクが常在し、社会活動があらゆる面で制約を受けている。このような中で運営せざるを得ない社会福祉事業に突きつけられている現状と課題は、少なくとも次の3点に集約されると思われる。

- 1) 感染症に圧伏される脅威と施設内感染防止
- 2) 介護・看護人材の慢性的不足と職員確保対策
- 3) 入所系・在宅系に共通する利用者・待機者減少と法人運営の継続性確保

感染症について、本法人は令和2年度に大分県コロナ対策支援金やJKAコロナ緊急支援事業助成金を合計1,000万円余り受給し、マスク、消毒用アルコール、サーマルカメラなど衛生・防疫資材の確保に努めた。構築した衛生管理体制を揺るぎなく継続し、施設内感染防止に努めなければならない。

少子高齢化により職員の新規採用数の低迷が余儀なくされるなか職員の確保対策は、いよいよ喫緊の課題となっており、職員としての被採用意欲を喚起し、また、継続して長期間働き続けられるよう労働環境を改善し、定着率を高めることが必要となってきた。

利用者や入所待機者の減少は、訪問系・通所系・入所系に共通する課題となっている。「新しい日常」に即した各事業所の役割や機能の再検討と確認、サービスの質の向上や事業所独自の固有性発揮に向き合うことが求められている。特に、特別養護老人ホームとショートステイにおける利用者受け入れ制限による収益減を早期に解消する必要がある。

### (2) 基本方針

令和3年度においては、事業運営の「安全・安心」を脅かす感染症や自然災害リスク、とりわけ新型コロナウイルス感染症に対する衛生管理体制を堅固に維持し、介護・看護人材の不足に対する多角的アプローチ、入所系サービスにおけるご利用者の受け入れ制限の早期解消や在宅系サービスの定員利用者確保に努める。

### (3) 基本理念～3つの視点

#### 1) 創設理念

「肉親をおもうところをそのままに永遠に捧げん情和の園に」

#### 2) 経営理念

- 1 全てのことに魂をこめた対応
- 2 規律と統制のとれた対応
- 3 厳正を旨とした姿勢
- 4 無限の精進
- 5 慈愛のこころ

### 3) 令和3年度運営理念

〔思いやるあなたの心を大切に〕

差しのべる  
その手その声  
その笑顔

#### (4) 令和3年度重点方針

- 1 〈リスク管理〉新型コロナウイルス感染症や自然災害等のリスク管理に努める。
- 2 〈労働環境改善〉平成21年に大改正を行った就業規則や給与規則の大幅な見直しと改正を敢行し、併せて福利厚生制度の刷新を行って労働環境の改善を図る。
- 3 〈DX=デジタルトランスフォーメーション〉ホームページを刷新し、またSNSなどITを駆使した広報戦略等を強化し、法人の成長を促す。
- 4 〈選択される施設〉各事業所の自律性を高め、サービスの質の向上を図り、ご利用者から選ばれる施設を目指す。
- 5 〈施設整備〉法人傘下施設の建物や設備については、平成28年度「熊本・大分地震による災害復旧工事」から令和2年度「ショートステイ個室化工事」に至るまで5年間に亘り連綿と各種の大規模改修等に取り組んできた。継続して故障や機能不全等を早期に発見・把握し、適時適切に処理する。

#### (5) 理事会並びに評議員会の開催予定

愛泉会の経営主体たる理事会及び評議員会について、事業を計画的に推進し、よって民間社会福祉事業としての先駆性・独自性を発揮し、公平・公正な法人運営がなされるよう下記の予定を以て会議を開催する。但し、必要な場合は随時開催する。

- |    |      |     |                          |
|----|------|-----|--------------------------|
| 1) | 令和3年 | 5月  | 決算理事会（決算報告、次期評議員の推薦等）    |
| 2) | 〃    | 6月  | 決算評議員会（決算報告、次期理事・監事の選任等） |
| 3) | 〃    | 6月  | 評議員選任・解任委員会開催（次期評議員の選任）  |
| 4) | 〃    | 6月  | 理事会（理事長の選定等）             |
| 5) | 〃    | 9月  | 補正理事会                    |
| 6) | 〃    | 12月 | 補正理事会・評議員会               |
| 7) | 令和4年 | 3月  | 予算理事会・評議員会               |

#### (6) 監事監査の実施予定

関係法に準拠した事業運営を行うため法人機能を検証し、かつ地域ニーズを踏まえたサービス提供を確固とするため、次の通り監事による監査を実施する。  
令和3年5月 決算監査

#### (7) 各事業所、及び委員会の事業計画書

別紙の通り。

## 令和2年度法人本部事業報告書

### (1) 総括

〈現下の課題に対する取組を中心に〉

令和2年度は、居住部門、居宅支援部門ともに新型コロナウイルス感染症の侵入阻止を連綿と続けた一年であった。また、介護職員の減少によって体制が脆弱となっていた特別養護老人ホームと短期入所生活介護、介護タクシーに係る運営の改革、さらに施設環境の改善を目標に近代化工事に取り組んできた。概要は次の通りである。

- 1 新型コロナウイルス感染症の危機が日増しに増大していることから、競輪公益財団（JKA）からAEDや心電図計等の医療機器を20種全額助成して頂き整備、さらに大分県から非接触体温計や高性能マスクなど122種をこれも全額助成して頂き、利用もしくは備蓄に供することが出来た。
- 2 感染症蔓延のため利用者が激減していた介護タクシーは令和2年6月を以て休止、雇用維持のため担当者は特別養護老人ホームへ異動、さらに介護職員の減少を踏まえ、特養すみれユニットとショートステイは令和3年2月から休止を断行し立て直しを図った。特養とショートステイは早期の再開を期して準備を進めている。
- 3 感染症対策として、国と大分県に協議し、ショートステイの準個室化、さらに完全個室化の2期に亘る工事を行った。また、本格稼働は令和3年度からとなったが、ITを活用したご利用者のバイタル採取とコンピュータ記録への反映を行うべく1年をかけて準備を進めた。また、広報戦略を本格化させるため専任職員を採用することとした。ホームページの更新、タブレットやインカム、Wi-Fi設備の導入、介護支援ソフトとの連携などこれまで以上に積極的に推進できる準備が整った。
- 4 人手不足軽減のため取り組んでいる外国人技能実習生については、入れ替わりも予想されるため、新たにインドネシア国から医療関係者（看護師）を中心に3名採用した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症のため来日が困難な状態で、いつ業務に従事出来るかは予測困難となっている。

### (2) 令和2年度運営方針に沿った取り組みについて

令和2年度当初に、主たる課題として次の3点を掲げた。

- 1 ご利用者の満足度向上を図る
- 2 ご家族、地域への（ニーズにあった）サービス提供
- 3 人材確保（働きやすい職場づくり）

年頭にあたって、愛泉会の実践3項目を「もっと声かけ、もっと気配り、目配りを」とし、毎朝唱和することで職員一丸となって処遇の向上に取り組んで

きた。満足度向上のための快適空間作り、サービス提供のためのニーズ把握（アセスメント）、働きやすい職場作りのための資格取得助成金制度等を幅広く活用しながら事業の発展に勤しんだ。

### **（３）令和２年度事業所別の利用状況について**

前述の通り、特別養護老人ホーム情和園の１ユニット追加休止とショートステイの休止が法人全体に与えた影響の大きさを印象づけた令和２年度であった。

これに対し、コロナ渦にもかかわらず居宅部門は全体的に健闘しており、特に訪問看護は２０％以上の伸びであり、需要の大きさを印象づけた。

詳細は、添付別紙「直近３年間の利用人員対比表」参照。全体を俯瞰した分析も併せて記載している。

今後も介護職員と看護職員の採用を最重点課題として、様々な施策を講じていく予定である。そして、全職員が各専門分野の技術と知識の向上に取り組み、地域の護り手として活躍していけるよう環境整備を充実していく所存である。

### **（４）専門委員会組織とその活動について**

各専門委員会の令和２年度事業報告は添付別紙の通り。

## 直近3年間の事業所別延べ利用人員対比表(平成30—令和2年度)

〔事業報告資料〕

社会福祉法人愛泉会

事業所名	延べ利用人員 (人)			対前年度比	対前年度比伸び率(%)	
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減		
特別養護老人ホーム	31,832	28,651	27,696	△ 955	特養+短期	
短期入所	2,426	1,913	1,191	△ 722	-5.5%	
訪問介護	2,375	事業廃止	-	-	-	
訪問看護	1,954	1,956	2,363	407	20.8%	
通所1課(情和園デイ)	8,392	9,451	8,958	△ 493	-5.2%	
2課(ハッピー)	2,483	2,638	2,669	31	1.2%	
3課(みもぞ)	7,876	7,150	7,291	141	2.0%	
青春塾	(通所型)	3,599	3,971	3,886	△ 85	-2.1%
	(出張型)	369	通所型に組み入れ	-	-	-
居宅介護支援	2,115	2,209	2,129	△ 80	-3.6%	
ケア輸送						
4条 介護タクシー	2,329	2,587	事業廃止(6月)	-	-	
78条 乗降介助	774	事業廃止	-	-	-	
(有料)アットホームいずみ	9,824	9,638	9,167	△ 471	-4.9%	
(合計)	76,348	70,164	65,350	△ 4,814	-6.9%	
在宅介護支援センター						
実態把握(まちかど相談所含む)	104	100	感染予防休止	-	-	
緊急通報(登録者数)	9	9	8	△ 1	-11.1%	
お元気コール	118	89	84	△ 5	-5.6%	
ハッピーいきいき塾	(回数)	1	1	感染予防休止	-	
	(人数)	19	19	感染予防休止	-	
(合計)	251	218	92	△ 126	-57.8%	

## 「分析」

居宅サービス部門は新型コロナウイルス感染症のリスクがあるなかで、全般的に検討している。特に、訪問看護は20%を超える伸び、通所2課は1.2%、通所3課は2%の漸増であった。利用人員が大きい通所1課と青春塾は2～5%の減少に抑えることができた。

これに対し、居住部門の中核である特養は介護職員数の逼迫から令和3年2月を期にすみれ1ユニットと併設の短期入所を追加休止せざるを得なくなり、前年比△5.5%減であった。

# 監査報告書

令和3年5月20日

社会福祉法人愛泉会  
理事長 土師 壽三 殿

監事 宮崎 幸一



監事 佐藤 勝弘



私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。